

### **WFFKLY** 学び・育み・実行しよう

週報 No.1824



平成29年4月17日 第1851回例会

1977年1月10日創立

2016~2017年度 国際ロータリー会長 ジョン F. ジャーム

●幹 事 吉田 健朗 ●会 長 丸山 修 ●副会長 青﨑 彰 ●編 集 広報・雑誌・IT委員会

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 🕕 真実かどうか 🙎 みんなに公平か 🔞 好意と友情を深めるか 👙 みんなのためになるかどうか

本日のプログラム

ゲスト卓話 = 鹿児島西ロータリークラブ 米山記念奨学生 宋 多情様

丸山

母子の健康月間

## 会長の時間

今日は市内分区の行事についてお話をしま す。

4月4日鹿児島市内分区会長幹事会が開 催され吉田幹事と出席して来ました。

IM、RYLA、会長幹事会及び新春合同 例会、この3つの分担は鹿児島市内分区10

クラブ合意のもと8年後まで決定しています。 これにより、2015~2016 (宇都) 年

度には、中央RCが新春合同例会の幹事クラブとして、市内ロー タリアンをお迎えしました。ご記憶の方も多いと思います。

もう少し前、2011~2012 (岩切) 年度には「新世代のた めのロータリー会議」を鹿児島中央RC担当で、当時の深野木 新世代委員長を中心に開催した思い出があります。形の無い所 から手さぐりでクラブ内合意形成を図りつつ、会員の協力が開 会直前にバッと出て、結果的には大成功でしたが、心配したのは、 深野木委員長は勿論、委員会の皆さんだった事でしょう。いざ となった時の中央RCの結束力には感心させられるものでした。 この時は南日本新聞社会館がほぼ全席満員で他の9クラブの多 数の出席は有難いものでした。

あまりの大変さの為だったのでしょうか。この「新世代のため のロータリー会議」は2年後を最後に取り止めとなりました

今年度のIMは鹿児島西RC担当で職業奉仕について当クラ ブの田中和俊職業奉仕委員長の事務所の司法書士でローターア クトの原田祐介君が「天職について考える」というタイトルでロー タリアン3人とローターアクター3人の一人として、ステージの 上で発表しました。

その中で鹿児島南ロータリークラブ上川会長から話がありま した。それはRYLAについての話でした。

上川会長の話によると担当の南ロータリークラブは必死に なって準備していて、開会直前なのに参加のロータリアン、ロー ターアクター共に少なく協力してもらえない関心がない、怒って 言っているのではないのですよという言葉の端々に無念さが感 じられました。調べてみたところ中央RCからの出席予定は会長 1名のみの様です、高岡青少年委員長とも打合せした所ですが、 少なくとも5~6人は出席したいと思います。4月15日(土)開 催です。今からでも間に合います。

ホストは鹿児島南RCですが9クラブはコホストクラブです。 協力しましょう。ちなみに2018~2019年度のIM、2020 ~2021年度RYLAの担当(ホストクラブ)は鹿児島中央RC に決定しています。

## ワタクシ。仕事が終わると大型バイクライダーなのです。

#### ■吉村 隆博

ロータリーの卓話ですから、それらしい話 をしないといけない訳です。

実は一昨年の12月に3台目の大型バイク を購入しました。14年前の中古車ですが、 私はずっとこのバイクが欲しくて、行きつけ のショップに「良い車体が出たら抑えてく れ」と長年お願いしてたのです。念願かなっ てやっと購入する事が出来ました。



バイクと言うと反社会的なイメージが強い乗り物ですが、一 概にそうでは無い事は心広い鹿児島中央ロータリークラブの皆 さんならご理解いただける事と思っております。我がクラブにも 石塚大先輩を始め、宮脇さん、川路さん、中間さん、不肖私と5 人のライダーがおりますが、何の世界においても人々の尊敬を 集める人物と言うのは存在するものです。人によってはその人物 が心の中ヒーローとなる訳ですが。

私の中に存在するヒーローをご紹介します。

"ジョイ・ダンロップ"

彼は私がもっとも好きなマン島TTレースで26回もの勝利を 挙げています。この記録は未だに破られていません。

マン島TTレースとはイギリスの本島とアイルランドの間に浮 かぶマン島で毎年5月の最終週から6月の第1週に行われるレー スです。第一回の1907年より世界で最も長い歴史を持つレー スです。そして、もう一つの顔は世界で最も危険なレースと言わ れています。

前回例会出席率 74.51%

その理由は普通、レースと言いますと サーキットで行われるものを連想しがち ですが、このマン島TTレースは一般の公道をマラソンのように クローズして行われる、いわゆる公道レースです。

マンホールの蓋や道路の白線、歩道の縁石に落ち葉や民家の 塀と言ったものがライダーに凶器となって襲い掛かります。実に 昨年までに252名の方が命を落としているのです。

ヨーロッパではアイルランドを中心に公道レースと言うものが 結構盛んで、ジョイはその他のレースでも多くの勝利を収めてい ます。

「キングオブザロード」の異名を持つ彼はその功績を称え、イ ギリス王室より一つ目の勲章を授与されます。

公道レースと言うものは危険が常につきまといますので、メー カーも表立って参加はしません。彼らロードレーサーは一部の レーサーを除いて、普通のレーサーのようにメーカーと契約して 多額のギャラを取る訳では無いのです。レースを主催するスポ ンサーからのスポンサー料だけが彼らの賞金になります。

彼は昼間はバイクの整備に励み、夜は自分が経営するアイ リッシュウイスキーのバーでバーテンとして立ち、店を訪れるお 客や彼目当てに来るファンを大いにもてなしたそうです。

命を懸けてレースを走り、店に立って来たお客に喜んで貰う。 職業奉仕の指針となりうる生き方です。

さらに…

1990年代に入りますとボスニアやルーマニアで内戦が勃発 します。

ジョイはレースの賞金で衣類や物資を買い込み、バイクを運 ぶトラックに積んで自らの運転で紛争地域の孤児院に届けてい たそうです。尚、彼は注目を引かないように名前は伏せて活動し たと言われています。

その人道活動はジョイに二つ目の勲章をもたらせました。 そんなジョイですが、2000年のマン島TTレースの26勝目

〒892-0828 鹿児島市金牛町3-13-5F

TEL.099(223)9366 · FAX.099(239)3504

を挙げた約1カ月後、エストニアで行われたレースでクラッシュ し、帰らぬ人となりました。

ジョイの生き方こそ、私達ロータリアンの理想とする生き方では ないでしょうか。

先程お伝えした私が購入したバイクですが、このバイクはジョイが26勝目を挙げたバイクと同じモデルです。

#### ■川路 理幸

すごいタイトルにプレッシャーを感じましたが、せっかくこんな機会をいただいたのですから今までを少し振り返ってみようと思いました。

最近となっては単車に乗る時間がとれないまま時が過ぎてしまいましたがまずは私が単車に興味を持つようになったきっかけから。最初にバイクに乗ったのは中学校時代に、いとこのお兄ちゃんに単車の後ろに乗せてもらったことだと思います。高校生になり、友達



が単車に乗るようになると、あのギアチェンジの音がたまらなく 好きになり、いつかは自分で乗りこなしてみたいと思うようにな りました。

23才ぐらいに中型免許をとったと思います。買った単車は盗難にあったり、86水害で水没したり、サンキュー事故にあったりと散々でした。

こんな目にあいながらも30代のころ、近くのバイクやでドカティという単車が展示してあるのを見かけ、調べたら大型バイクだったことが判明。どうしても大型免許がほしい!と思いだしました。

当時は帖佐での一発免許しかなかったので躊躇していたのですが、教習所でも大型免許取得が可能になり自動車学校へ通いました。そして念願のドカティを購入しました。

免許をとってから3カ月ぐらいたっていたかと思いますが納車の日がやってきました。2月の厳しい寒さの日でした。バイク屋さんから「中型と違い、力があるので気をつけてください」「タ

イヤはまだワックスがかかっているので、そうっと発進してください」と注意を受けていたにも関わらず、ドカティの特性もわからない私はうまくつなげず、ちょっと開けてしまったのです。アクセルを。

ブンッ!というアクセルの音とともにガッシャーン!!と派手な音を鳴らしコケてしまい、単車は私の膝でワンクッションした後、火花を散らして反対車線へ飛んで行きました。みんな唖然!あわてて交通整理に走りました。

ショップの方々は淡々と単車を工場に運び、曲がったハンドルを交換し、再度納車準備をしてくれました。こんな中、ラッキーなことがひとつ。火花を散らしたマフラーは目立たないとこへ傷が入っており、タンクも無傷でした。

コケた恐怖感などもありましたが立ち直り、バイクは最初で傷が入ってしまったので新車の気負いも気遣いもないまま気軽に乗れるようになりました。

こんなことがありましたがその後よきツーリングメンバーと出会い、走ることの楽しさを教えてもらいました。

単車が思うように走ってくれる。スピードが楽しい。スリリングさがたまらない。パワーがある。走ることが楽しくて楽しくて一時は毎週ツーリングにいったりしていました。みんなで走り、ツーリングスポットに出向き、おいしいものを食べる。寒い日も暑い日も土砂降りになっても走る。自分自身の走りも良くなる。本当に楽しい日々だったと思います。

今は以前のように時間が取れなくなりましたし、がむしゃらに 走ることも無くなりましたが、みんなで走る楽しみを味わうよう なってきたと思います。

中央ロータリーでも大型バイクに乗られる、石塚さん、宮脇さん、中間さん、吉村さんと現在5人でツーリングチームを作っています。

季節もよくなり、楽しい走りができると次の機会を楽しみにしているところです。

ラウンドテーブル 担当:プログラム委員会・職業奉仕委員会・交流委員会 日時:4月10日(月)18:30~ 場所:ごはんのじかん参加者: 新名主・宮脇・橋元・丸山・吉田・福山・是枝・稲留・川路 計9名

# ZZYIDOKWAZ O

- ●吉田 健朗君/結婚記念日お祝いありがとうございます。11年目になります。先輩方を見習って仲良く長続きする夫婦を目指します。
- ●椨 茂吉君/結婚記念日有難うございます。
- ●前迫 実君/結婚祝いありがとうございました。37回目になるようですが、とくに感慨はありません。おだやかに過ごせればと、それだけを願っております。
- ●橋元 隆君/結婚記念日祝いありがとうございます。昭和63年4月29日でした。平成と同じ年数だと妻に教わったので29年目です。捨てられないように頑張ります。
- ●深野木 信君/結婚記念日お祝いありがとうございます。昨日でしたが、カミさんはぎっくり腰で動けなくなった息子の介護のために上京。初めて別々に過ごす記念日でした。感想は…ご想

像ください。

- ●田中 和俊君·新名主 聡君/本日のラウンドテーブルは、プログラム委員会、職業奉仕委員会、交流委員会の合同で盛大に開催いたします。皆さまお越しください。
- ●宮脇 謙舟君/結婚祝いありがとうございました。20年でした。本日のラウンドテーブルもよろしくお願いします。
- ●福山 孝子君/結婚記念日お祝いをいただきありがとうございます。嬉しい事に海外赴任しておりました夫が日本に帰任致しました。久しぶりに結婚していること自覚しております。
- ●池脇 剛君/結婚記念日お祝い有難うございます。45年目になります。
- ●加島 繁君/38年目の結婚記念日を迎え親、兄弟と暮らした時よりも永い生活を共にしています。私の長所、欠点、生活のすべてを把握しているようですので、女性として、妻として、親友として、これからも面倒見てもらって行きます。

(4月10日のスマイル 小計 30,000円 2016~2017年度 累計801,570円)

ロータリーソング: 「それでこそロータリー」

職業宣言唱和:3·4 会長挨拶:会長 丸山 修君

結婚記念日お祝い:加島 繁君(1日) 前追 実君(5日)

池脇 剛君 (8日) 深野木 信君 (9日)
椨 茂吉君 (10日) 神野 洋介君 (16日)
森園 千廣君 (16日) 福山 孝子君 (26日)
橋元 隆君 (29日) 吉田 健朗君 (29日)

会務報告:幹事 吉田 健朗君

- 1) 本日の配布 ①週報
- 2) 揭示板 ①3月度収支計算表 ②観桜会収支決算書
- 3) ラウンドテーブル 本日 18:30~於:ごはんのじかん 担当:プログラム・職業奉仕・交流 委員会
- 4) 次週 4/17(月) 例会プログラム

ゲスト卓話=鹿児島西RC米山記念奨学生 宋 多情様

出席報告:出席委員会 スマイルボックス:親睦委員会

委員会報告

3分間情報

卓話=川路 理幸君・吉村 隆博君

「ワタクシ、仕事が終わると 大型バイクライダーなのです。」

#### 次回例会 平成29年4月24日(月)

社会奉仕フォーラム 「交通安全について」

出席報告	会員数	出席数	出席率
第1850回例会	57名	38名	74.51%
前々回(3月27日)の補正	59名	49名	87.50%

1850回例会記録 4月10日(月)